

### ◆一條彰子

論文 「ドイツの博物館教育レポート」／『現代の眼』601号

論文 「米国の美術館教育レポート—学校教育へのアプローチ」／『現代の眼』602号

論文 共同執筆「米国の美術館における鑑賞教育—所蔵作品を活かしたスクールプログラムの調査結果に基づく一考察」／『日本美術教育研究論集』第47号(2014年3月)

発表 「米国の美術館における鑑賞教育の今」／日本美術教育連合（会場：東京家政大学、2013年10月20日）

発表 Development of Art Appreciation Education Program Utilizing Works in Art Museum Collections／Learning Symposium 2014（会場：ニュー・サウス・ウェールズ美術館(シドニー、オーストラリア)、2014年3月13日）

### ◆大谷省吾

論文 「「プレイバック・アーティスト・トーク」展を準備しながら考えたこと」／『現代の眼』600号

論文 「「プレイバック・アーティスト・トーク」展連続講演会報告」／『現代の眼』602号

論文 「霽光《眼のある風景》をめぐって(上)」／『美術研究』410号(東京文化財研究所、2013年9月)

論文 「霽光《眼のある風景》をめぐって(下)」／『美術研究』411号(東京文化財研究所、2014年2月)

論文 「シュルレアリスム絵画の日本における受容と展開についての研究」／博士論文(筑波大学、2014年3月)

発表 「実験工房 コラボレーションの磁場」／「実験工房展」(世田谷美術館)(会場：世田谷美術館、2013年11月30日)

### ◆蔵屋美香

論文 「新しいコレクション ジョアン・ミロ《絵画詩(おお!あの人やっちゃったのね)》」／『現代の眼』600号

論文 Abstractly Speaking…:Koki Tanaka's Installation at the 55<sup>th</sup> Venice Biennale / *Abstract speaking: sharing uncertainty and collective acts* (Nero Publishing, 2013年6月)

論文 「対談 | 田中功起×蔵屋美香 「大きな出来事」のあとで一文脈の読み替え/等価な経験/共有と継承」／田中功起『質問する』(ART IT、2013年7月)

論文 「私たちは誰に拍手したのか?」／東京国立近代美術館 編『ドキュメント | 14の夕べ』(青幻舎、2013年12月)

論文 「可能なる美術館 コレクションとアーカイヴ」／『組立・転回』(組立、2014年3月)

論文 「あいちトリエンナーレ評 多様な視野、獲得の場に」／『朝日新聞』(愛知版、2013年11月13日)

論文 「リミニ・プロトコル」／『美術手帖』2月号(美術出版社、2014年1月)

論文 「コレクションを中心とした小企画 泥とジェリー」／『美術の窓』4月号(生活の友社、2014年3月)

作品解説／『近代美術の名作150』(美術出版社、2013年4月)

作品解説「近代美術の眼 北脇昇《空の訣別》」／『読売新聞』(都内版、2014年3月14日)

展覧会カタログ「泥とジェリー」／コレクションを中心とした小企画「泥とジェリー」展

発表「From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989」出版記念パネル・ディスカッション／ニューヨーク近代美術館・国際交流基金(会場：国際交流基金、2013年4月26日)

発表「愛されるミュージアム?—ミュージアムと観客のこれまでとこれから」／群馬県博物館連絡協議会講演会(会場：群馬県博物館連絡協議会、2013年5月17日)

発表 シンポジウム「アートで考える／アートを考える」／日本大学芸術学部美術学科(会場：練馬区立美術館、2013年7月6日)

発表「戦うからだ」／(会場：blanClass、2013年7月13日)

発表 第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展報告会／(会場：国際交流基金、2013年7月18日)

発表 クリティカル・アーカイヴvol.1「香月泰男をめぐる」／(会場：ユミコチバアソシエイツ、2013年7月20日)

発表 第12回カフェアオキ「美術と美術館のために」／(会場：国立新美術館、2013年7月21日)

発表 オープンリサーチプログラム「田中功起+蔵屋美香 抽象的に話すこと—ヴェネチア・ビエンナーレに参加して」／京都国際現代芸術祭(会場：同志社大学今出川キャンパス、2013年7月27日)

発表「ヴェネチア・ビエンナーレに参加して：経験を世界に伝えるということ」／岩手芸術祭(会場：岩手県民会館、2013年9月7日)

発表「六本木クロッシング2013展：アウト・オブ・ダウト」展パネルディスカッション「日本現代アートのいまを問う」／森美術館(会場：アカデミーヒルズ タワーホール、2013年9月22日)

発表「可能なる美術館 コレクションとアーカイヴ」／組立・転回(会場：東京都現代美術館、2013年10月5日)

発表 A Brief history of Japanese contemporary art appreciated in global art context, and vice versa: from 1920s to 2010s / 韓国美術史学会 “Asian Art in Global Context” Symposium (会場：弘益大学(ソウル)、2013年10月12日)

発表「ヴェネチア・ビエンナーレに参加して：経験を世界に伝えるということ」／東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻講演会(会場：東京藝術大学、2013年10月15日)

発表 セオリー・ランドテーブル「歴史はぶり返す：1910年代から2010年代へ」／(会場：近畿大学四谷アートステュディオム、2013年10月23日)

発表 セオリー・ランドテーブル「たたかうからだ2 からだでたどる日本の美術 1907-1945」／(会場：近畿大学四谷アートステュディオム、2013年10月30日)

発表「「アーカイブ」と「データベース」のあいだで—慶応アートセンターと東京国立近代美術館の試み」／上智大学国際教養学部ファカルティー・デヴェロップメント(会場：上智大学、2013年11月29日)

発表「アーティストは美術館とどうつき合うべきか(特に「近代」美術館と)?」／東京藝術大学 情報プロデュース概論 講演(会場：東京藝術大学、2013年12月2日)

発表「コレクションを活かす展示を作るための、ほんの少しのあたまたの体

操」／平成25年度博物館学芸員専門講座「ニーズを創出する博物館」（会場：国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター、2013年12月4日）

発表 After the Quake—sharing uncertainty The Japan Pavilion at the 55<sup>th</sup> Venice Biennale／韓流芸術の世界化のための文化戦略グローバル現代アーティスト深化アカデミーⅡ 韓日美術文化交流セッション（会場：弘益大学東アジア芸術文化センター（ソウル）、2013年12月14日）

発表 トークイベント「つくる、つかう、つかまえる—いくつかの彫刻から高柳恵里×葦屋美香」／（会場：東京都現代美術館、2014年1月13日）

発表 ゲスト講評会／（会場：東京藝術大学、2014年1月30日）

発表 「今、私たちを収蔵できますか?～アーティストとアーカイブ～」／シブハウスアートミーティングプロジェクト（会場：シブハウス、2014年2月1日）

発表 公開講評会「キュレーターの眼 2014」／（会場：女子美術大学、2014年3月15日）

#### ◆小林美香

論文 「ジョセフ・クーデルカ『ジブシーズ』作品の成り立ちと写真集の構成を巡って」／『現代の眼』603号

#### ◆柴原聡子

展覧会カタログ 「そこにあるものから何を学ぶのか——観察とつくること」、「夏の家」観察ノート」／『夏の家』についての覚書』

#### ◆鈴木勝雄

論文 「不在の類型学：日本における概念的な芸術の系譜（1）」／『東京国立近代美術館研究紀要』第18号

論文 「実験場1950s」展の射程：冷戦期の文化研究の新視点（同時代史の現場 美術館における「同時代史」展示の可能性）／『同時代史研究』6号（2013年12月）

作品解説 「近代美術の眼 関野準一郎《墓とニューヨーク》」 主任研究員・鈴木勝雄 『読売新聞』（都内版、2013年7月12日）

作品解説 「近代美術の眼 津田青楓《犠牲者》」 主任研究員・鈴木勝雄『読売新聞』（都内版、2013年11月8日）

展覧会カタログ 「昭和戦前期の沖縄の表象：再考のための三つの手がかり」／浦添市美術館主催「南からの風南への風：沖縄・台湾：近代沖縄の美術・工芸」展

展覧会カタログ 「都市の無意識」／コレクションを中心とした小企画「都市の無意識」展ブローシャ

発表 シンポジウム「抗うアジアの表現と情動——オルタナティブな<記憶—歴史>を想像する」／カルチュラル・タイフーン2013（会場：東京経済大学、2013年7月14日）

発表 トークイベント「芸術は何を表し、何を匿ってきたか レトロスペクティブ（＝事後たとえば戦後）の芸術、プロスペクティブ（事前）の芸術」／武蔵野美術大学（会場：武蔵野美術大学美術館、2013年8月10日）

発表 「昭和戦前期の沖縄を描いた絵画」／浦添市美術館（会場：浦添市美術館、2014年1月26日）

発表 「具体美術協会」セミナー・ワークショップ：アメリカにおける戦後日本美術展Vol.2／大阪大学（会場：大阪大学、2014年2月22日）

◆都築千重子

論文 「近代美術の眼 ロヴィス・コリント「死の舞踏」より《死と芸術家》」  
／『読売新聞』（都内版、2013年4月12日）

◆鶴見香織

論文 新しいコレクション 速水御舟《京の家・奈良の家》／『現代の眼』  
602号

論文 著書 『もっと知りたい菱田春草』／（東京美術、2013年6月10日）

作品解説 「近代美術の眼 速水御舟《京の家・奈良の家》」／『読売新聞』（都  
内版、2013年9月13日）

作品解説 「近代美術の眼 川合玉堂《彩雨》」／『読売新聞』（都内版、2013年  
10月25日）

作品解説 横山大観《或る日の太平洋》、徳岡神泉《富士山》、加藤東一《富士》  
／『富士山 日本の美5』（美術年鑑社、2013年10月）

◆中林和雄

論文 「抽象と待機——山田正亮《Work E-250》をめぐって」／『現代の眼』  
603号

◆中村麗子

展覧会カタログ 「試みる人、栖鳳」、章解説、作品解説、年譜、主要参考文  
献／「近代日本画の巨人 竹内栖鳳展」

論文 「上村松園《焰》」／『ARTcollectors』51号（生活の友社、2013年5月）

論文 本文、作品解説／『もっと知りたい竹内栖鳳生涯と作品』（東京美術、  
2013年9月）監修：平野重光、共著：吉中充代

論文 「栖鳳の眼力」、作品解説／『竹内栖鳳』（別冊太陽）211号（平凡社、  
2013年9月）

論文 「竹内栖鳳の写生帖」／『美術の窓』359号（生活の友社、2013年8月）

◆布施環

論文 共著「〈資料紹介〉メディア連携を企図する館史としての『東京国立近  
代美術館60年史』—「美術館の歴史を一冊の参考図書とする」試み再々論  
「企画展出品作家総索引」の編集・刊行・公開を中心に」／『東京国立近代美  
術館研究紀要』第18号

◆保坂健二郎

監修 『アール・ブリュット アート 日本』／平凡社 2013年8月

論文 「新しいコレクション 奈良美智《Harmless Kitty》」／『現代の眼』604号

論文 連載「美術」／『すばる』（集英社、2013年4月、5月、6月、8月、10月、12月、  
2014年2月）

論文 連載「視線」／『朝日新聞』（全国版、2013年5月5日、6月9日、7月14日、  
8月18日、9月22日、10月20日、12月8日、2014年1月19日、3月2日）

論文 連載「月評」／『新建築』（新建築社、2013年5月、7月、9月、11月）

論文 「プロローグ | いま、なぜベーコンか?」「ベーコンの絵はどこがどう

すごいのか」「フランススへの手紙」／『芸術新潮』(新潮社、2013年4月)

論文 「保坂健二朗さんとの往復書簡」／田中功起『質問する』(フィルムアート社、2013年7月)

論文 「「はじめに色彩ありき」——菊地宏が色を使う理由」／『10+1』 website (LIXIL出版、2013年9月)

論文 「青の時代は続く—アートとブルーの多義性について」／『Eyescream』(スペースシャワーネットワーク、2013年9月)

論文 「だんわしつ 「鑑賞・評価」から「共感・共有」へ」／『指導と評価』(図書文化、2013年9月)

論文 「今年のヴェネツィアはアール・ブリュットが台風の目」／『芸術新潮』(新潮社、2013年9月)

論文 「書評 西沢立衛 けんちくワークブック (くうねるところにすむところ)」／『新建築』(新建築社、2013年10月)

論文 展覧会を「開く」のは、風景を、未完にするため／『をちこちMagazine』(国際交流基金、2013年10月)

論文 「アール・ブリュットとはなにか」／『教育美術』(教育美術振興会、2013年11月)

論文 「時評 今なぜ私たちにアール・ブリュットが必要なのか」／『凶区』2号(BOOK PEAK、2013年12月)

論文 「雑感以上批評未満」／『シェル美術賞展 2013』展カタログ(昭和シェル石油株式会社、2013年12月)

論文 「写真と絵画の往還」／『アサヒカメラ』(朝日新聞出版、2013年12月)

論文 「平面ならではの生成 ランナーとクローン」／『美術手帖』(美術出版社、2014年1月)

論文 「書評 『匠たちの名旅館』」／『住宅建築』(建築資料研究社、2014年2月)

論文 「片山真妃の絵画について」／『VOCA展2014』(上野の森美術館、2013年3月)

作品解説 「近代美術の眼 須田一政 静岡・松崎浄感寺『風姿花伝』より」／『読売新聞』(都内版、2013年5月10日)

作品解説 「近代美術の眼 奈良美智《Harmless Kitty》」／『読売新聞』(都内版、2014年2月14日)

発表 「きみはフランス・ベーコンをしっているか？」／京都造形芸術大学(会場：京都造形芸術大学・外苑キャンパス、2013年4月10日、4月20日、5月15日、5月29日)

発表 「展覧会をつくる／本・現場・美術 番外編」(会場：青山ブックセンター青山本店、2013年4月20日)

発表 「猫町倶楽部 読書会」／猫町倶楽部(会場：東京ミッドタウン内シスコシステムズ会議室、2013年4月27日)

発表 トークイベント「炭坑の視覚表現をめぐる」／「坑夫・山本作兵衛の生きた時代～戦前・戦時の炭坑をめぐる視覚表現」展(会場：原爆の図丸木美術館、2013年7月13日)

発表 「堀田哲明について」／堀田哲明展「たくさんのひとつの家」(会場：みずのき美術館、2013年7月20日)

発表 「絵画は愛か幽霊か」／多摩美術大学オープンキャンパス(会場：多摩美術大学八王子キャンパス、2013年7月21日)

発表 「ベーコンがいつもフレッシュで美味しい理由を考える」/「フランス・ベーコン展」(会場：豊田市美術館、2013年8月3日)

発表 「戦後の日本建築の変遷と現在の建築家について」/中韓印次世代キュレーター招聘(会場：国際交流基金、2013年9月12日)

発表 トークセッション/北山善夫「生きるための主題」展(会場：みずのき美術館、2013年9月14日)

発表 「アート×建築-空間をつくるということ」/鑑賞講座 建築を見るために/ (会場：川口市立アートギャラリー・アトリア、2013年9月21日)

発表 「はじまりの美術館プレトークイベント はじめる美術館」/はじまりの美術館(社会福祉法人安積愛育園)(会場：しおや蔵(猪苗代町)、2013年10月20日)

発表 「明日の美術館をつくろう。県民フォーラム」/滋賀県フォーラム(会場：コラボしが21大会議室、2013年11月3日)

発表 トークセッション/「Nerhol」展(会場：原宿VACANT、2013年12月5日)

発表 「話すこと話せること話されること」/冬木遼太郎展(会場：京都ART ZONE、2013年12月7日)

発表 「障害者の芸術活動の支援」/ミュージアム・マネージメント研修(会場：日比谷図書文化館、2013年12月20日)

発表 講評会/ポコラート全国公募展 vol.4 (会場：アーツ千代田3331、2013年12月23日)

発表 「アール・ブリュット 元年」/アメニティ・フォーラム18 (会場：大津プリンスホテル・コンヴェンションホール淡海、2014年2月7日)

発表 「トークセッション2：キュレーターの眼、アーティストの眼」/「未来の途中 美術・工芸・デザインの新鋭12人展」(会場：京都工芸繊維大学、2014年2月15日)

発表 「プロジェクトを解体する」/「平行する交差展」(会場：日本大学芸術学部、2014年2月22日)

発表 「アート界に象徴される刹那さとスピードの中で、いかに建築は立ち続けるべきか」/Aプロジェクト連続講座第9回(会場：新宿NSビル・インテリアホール、2014年3月14日)

発表 「新しい美術館のかたち～アール・ブリュット作品を美術館があつかうこと～」/「アール・ブリュット アート 日本」展(会場：酒遊館(近江八幡)、2014年3月15日)

#### ◆梶田倫広

論文 フランス・ベーコン作《三人の人物と肖像》に関する一考察/『引込線2013』(引込線実行委員会、2013年11月)

論文 やわらかくたっている—工藤哲巳の肯定性/『美術手帖』999号(美術出版社、2014年1月)

論文 「展覧会レビュー O JUN—描く児」/『月刊美術』463号(サン・アート、2014年4月号)

作品解説 「近代美術の眼 笠松紫浪《温泉の朝(信州野澤)》」/『読売新聞』(都内版、2013年1月24日)

展覧会カタログ 翻訳 「箱があなたに贈られるとき—工藤哲巳の展開を探る。1962年、パリ。」/「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」

発表 リテラル・イメージの行方—マイケル・フリードによる『フランス・ベーコンの達成』の読解を通じて/平成24年度美学会東部会例会(会

場：早稲田大学、2013年12月7日)

発表 アーティスト・トーク 前谷康太郎/ICC (会場：ICC4階特設会場、2014年1月18日)

◆増田玲

論文 「新しいコレクション 中平卓馬《サーキュレーション—日付、場所、行為より》」/『現代の眼』603号

論文 展評「『偶像』としてのキャパ像：「ロバート・キャパ/ゲルダ・タロー二人の写真家」展」/『美術手帖』984号(美術出版社、2013年5月号)

論文 「旅するまなざしと根をおろすもの、そしてさまざまな声」/『1972～Kozo Miyoshi』展覧会ブローシャ(Gallery 916、2013年8月)

論文 「「わが東京100」について」/須田一政写真集『わが東京100』(禅フォトギャラリー、2013年10月)

作品解説 「近代美術の眼 中山岩太《「中山岩太ポートフォリオ2010」より 10 蝶(一)》」/『讀賣新聞』(都内版、2013年6月14日)

作品解説 「近代美術の眼 森山大道《「にっぽん劇場」》」/『讀賣新聞』(都内版、2013年12月13日)

展覧会カタログ「クーデルカの世界」、「最善を尽くすこと、それをいつも頭においている：ジョセフ・クーデルカとの対話ノートより」(翻訳)、章解説/「ジョセフ・クーデルカ展」

発表 「グルスキー作品を考える—巨視的に、微視的に」/「アンドレアス・グルスキー展」(会場：国立新美術館、2013年7月14日)

発表 「石元作品に現れる“とき”をめぐる」/「高知県立美術館コレクション展 石元泰博・フォトギャラリー 刻 -moment-」(会場：高知県立美術館、2014年2月11日)

◆松本透

論文 美術館ニュースの今後—『現代の眼』六〇〇号発行を機に/『現代の眼』600号

論文 作品研究 村岡三郎《熔断—1380℃×11000mm》/『現代の眼』602号

論文 ソウルで開かれた日本の現代美術展/『美術の窓』No.356(5月号)(生活の友社、2013年5月)

論文 追悼 村岡三郎さんを偲んで/『新美術新聞』1321号(2013年9月1日)

論文 審査講評/「FACE展2014 損保ジャパン美術賞展」カタログ(損保ジャパン東郷青児美術館) 2014年2月

発表 美術館の活用法—コレクションを愉しむ/(会場：世田谷美術館、2013年10月26日)

発表 美術放談(対談)/CCA市民美術大学(会場：現代美術センターCCA 北九州、2013年11月2日)

発表 線を遊ぶ、語る—縄文から現代まで(トークセッション)/茅野市美術館アート×コミュニケーション+信州大学(会場：茅野市民館、2013年11月23日)

◆水谷長志

論文 共著「アジアからの美術書誌情報の発信—東京国立近代美術館・国立西洋美術館OPACのartlibraries.netにおける公開の経緯とその意義」/『東京

国立近代美術館研究紀要』第18号

論文 共著「〈資料紹介〉メディア連携を企図する館史としての『東京国立近代美術館60年史』—「美術館の歴史を一冊の参考図書とする」試み再々論「企画展出品作家総索引」の編集・刊行・公開を中心に」／『東京国立近代美術館研究紀要』第18号

論文 共著「Special issue: art documentation in Japan, in *Art Libraries Journal*, ARLIS/UK & Ireland, Vol.38, No.2, 2013の刊行について」／『アート・ドキュメンテーション通信』97号(アート・ドキュメンテーション学会、2013年4月)

論文 「日本の美術文献の発信と伝達—国立美術館のartlibraries.net参画の意味を思う」／『全美フォーラム』4号(全国美術館会議、2013年8月)

論文 共著「東京国立近代美術館アートライブラリ所蔵 藤田嗣治旧蔵書について —その受入から公開まで—」／『アート・ドキュメンテーション通信』99号(アート・ドキュメンテーション学会、2013年10月)

論文 「日本のアート・ドキュメンテーションの四半世紀を記録し創生したメディア 『アート・ドキュメンテーション通信』の100号を祝う」／『アート・ドキュメンテーション通信』100号(アート・ドキュメンテーション学会、2014年1月)

論文 「MLAの差異と同質を踏まえて伝える文化“継承”—あるクラスの風景から—」／『DHjp 新しい知の創造』1号(勉誠出版、2014年2月)

論文 「関根正二と生田長江 《女の顔》(神奈川近美蔵)をめぐる—美術・演劇・文芸をつなぐMLA」／『ふぉーらむ』10号(図書館サポートフォーラム、2013年9月)

◆三輪健仁

論文 「『14の夕べ』のあとさき」／東京国立近代美術館 編『ドキュメント14の夕べ【…後略…】』(青幻舎、2013年12月)

論文 「海外博物館だより フランスのミュージアムにおける作品管理及びコレクション活用の試みについて」／『博物館研究』vol.49, No.3 (公益財団法人 日本博物館協会、2014年2月)

発表 「『14の夕べ』の残りのもの、について」／現在のアート<2013> (会場：森美術館、2013年12月21日)

◆渡邊美喜

論文 共著「〈資料紹介〉メディア連携を企図する館史としての『東京国立近代美術館60年史』—「美術館の歴史を一冊の参考図書とする」試み再々論「企画展出品作家総索引」の編集・刊行・公開を中心に」／『東京国立近代美術館研究紀要』第18号

論文 「国際シンポジウム「地域・社会と関わる芸術文化活動のアーカイブに関するグローバル・ネットワーキング・フォーラム」参加報告記」／『アート・ドキュメンテーション通信』97号(アート・ドキュメンテーション学会、2013年4月)

論文 「企業アーカイブズとしての高島屋史料館に関する一考察」／『GCAS Report』Vol.3 (学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻、2014年2月)

発表 「アートの領域における個人アーカイブズの深化と拡張—パウル・クレーの事例に学ぶ」／日本アーカイブズ学会(会場：学習院大学、2013年4月21日)

## ◆今井陽子

- 論文 「ボディ×ボディ×ボディ(仮称)(展覧会予告)」/『現代の眼』599号  
 論文 作品研究 人形の原像と近代：夢二と柳女の商品から/『現代の眼』600号  
 展覧会カタログ セルフガイド「ボディ<sup>3</sup>」、ボディ・ブック&ノート/「所蔵作品展 ボディ<sup>3</sup>」展  
 展覧会カタログ 「森口華弘と染めの美」/「クローズアップ工芸」展  
 展覧会カタログ 作家略歴、用語解説、作品目録/「工芸からKŌGEIへ」展  
 発表 清瀬市立清瀬第八小学校+東京国立近代美術館工芸館の連携授業について/美術館・都府研研究局 連携研究報告会(会場：世田谷区立上北沢小学校、2014年3月19日)

## ◆唐澤昌宏

- 論文 石黒宗磨の〈黒釉葉文盃〉をめぐって/『現代の眼』599号  
 論文 後記/『現代の眼』603号  
 論文 加藤委一素材への執着とアクションから生まれる造形/『陶説』727号(日本陶磁協会、2013年9月)  
 論文 「日本伝統工芸展60回記念 工芸からKŌGEIへ」展に寄せて/『陶説』729号(日本陶磁協会、2013年12月)  
 論文 内田鋼一が生み出すモノ/『内田鋼一展—うつわからの風景—』カタログ(paramita museum、2013年5月)  
 論文 白磁の可能性を求めて—庄村久喜の「白妙磁」/『白妙磁の世界 庄村久喜展』カタログ(そごう横浜店、2013年7月)  
 論文 岡部嶺男の「青瓷」/『土を宝石に変えた鬼才の陶芸家 岡部嶺男展』カタログ(阪急うめだ本店、2013年8月)  
 論文 大和保男の陶芸的表現にみる作陶姿勢と思考/『大和保男の陶芸—魂の造形—』展カタログ(山口県立萩美術館・浦上記念館、2013年9月)  
 論文 ハンス・コパーが生み出したもの/『HANS COPER』展カタログ(水戸忠交易、2013年10月)  
 論文 想いの造形/『土の姿』展カタログ(益子陶芸美術館、2013年12月)  
 論文 加藤重高氏を偲ぶ/『美術年鑑』(美術年鑑社、2013年12月)  
 論文 隠崎隆一：心の造形としての備前焼/『隠崎隆一 事に仕えて』展カタログ(菊池寛実記念 智美術館、2014年1月)  
 論文 総評/『第53回日本クラフト展』カタログ(日本クラフトデザイン協会、2014年1月)  
 論文 日本の美意識と技「工芸からKŌGEIへ」展に寄せて/『聖教新聞』(2014年1月30日)  
 論文 「工芸」のイメージと、これからの「工芸=KŌGEI」/『CLIMB』22(金沢市卯辰山工芸工房、2014年3月)  
 展覧会カタログ 「小名木陽一が極めた織の造形」/「クローズアップ工芸」展  
 展覧会カタログ 「工芸」から「KŌGEI」へ、作家略歴、用語解説、作品目録/「工芸からKŌGEIへ」展  
 発表 イタリア・ファエンツァをめぐる近年の現代陶芸事情—グェッリー

ノ・トラモンティ回顧展と国際陶芸展ほか—／東洋陶磁学会（会場：根津美術館、2013年6月1日）

発表 作家の言葉から日本の陶芸を考える／窯業指導所特別講座（会場：茨城県工業技術センター窯業指導所、2013年7月31日）

発表 日本の工芸の現在(いま)を考える／平成25年度工芸館巡回展(会場：田辺市立美術館、2013年9月14日)

発表 イタリア的な造形思考のすすめ／東洋陶磁学会（会場：茨城県陶芸美術館、2013年10月20日）

#### ◆木田拓也

論文 ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン1956-2008：工芸／CRAFTの行方／『東京国立近代美術館研究紀要』第17号

論文 加守田章二《曲線彫文壺》／『現代の眼』603号

論文 「渡辺素舟と昭和初期の『工芸美術』」／『叢書・近代日本のデザイン』第52巻(ゆまに書房、2013年10月)

論文 大河内正敏と奥田誠一 陶磁器研究会／彩壺会／東洋陶磁研究所——大正期を中心に——／『東洋陶磁』第42号(東洋陶磁学会、2013年3月)

論文 1964 Tokyo Olympic Games, A Design Project: "Japanese-ness" in Olympic Designs／Consilience and Innovation in Design, Proceedings and Program vol. 2 (国際デザイン学会、2013年8月)

論文 日本統治時代の朝鮮美術展の工芸：もうひとつの日本近代工芸史／『鹿島美術研究』年報第30号別冊(鹿島美術財団、2013年11月)

論文 ミュージアム・オブ・アート&デザイン(MAD)——生まれ変わったアメリカン・クラフト・ミュージアム／『博物館研究』第48巻第10号(日本博物館協会、2013年10月)

論文 大陸に渡った工芸家：近代日本の工芸家にとっての『アジア的なもの』／『デザイン史学』第11号(デザイン史学研究会、2013年8月)

論文 'Japanese-ness/Asian-ness' in Crafts in the 1920s-30s: From the Works in Government Sponsored Competitive Exhibition, Teiten, / *Proceedings for Translating and Writing Modern Design Histories in East Asia for the Global World* ( Organizing Committee of 2013 Yunlin Symposium、2013年6月)

展覧会カタログ 富本憲吉の羊歯模様について：クローズアップ《色絵金銀彩羊歯文八角飾箱》／「クローズアップ工芸」展

発表 Japanese-ness/Asian-ness' in Crafts in the 1920s-30s: From the Works in Government Sponsored Competitive Exhibition, Teiten / 2013 The International Design History Symposium (会場：国立雲林工科大学(台湾)、2013年6月27日)

発表 アメリカの美術館のコレクションにみる日本の近代工芸／国際シンポジウム：白山谷喜太郎と日米文化交流(会場：金沢21世紀美術館、2013年11月24日)

発表 1964 Tokyo Olympic Games, A Design Project: "Japanese-ness" in Olympic Designs／5<sup>th</sup> International Congress of International Association of Societies of Design Research (会場：芝浦工科大学、2013年8月27日)

発表 オリンピックのなかの<アート>と<デザイン>／公開コロキウム「社会システム<芸術>とその変容」(会場：東京芸術大学、2014年2月2日)

発表 東京オリンピック1940/1964／公開コロキウム「社会システムのなかのオリンピックとデザイン」(会場：東京国立近代美術館、2013年4月21日)

発表 Crafts Crossing Borders in 1920s-40s / Inter-Asia Cultural Studies Society, Conference 2013 (会場：シンガポール大学、2013年7月5日)

◆北村仁美

論文 松田権六「優品之調査」／東京国立近代美術館 紀要第17号

論文 章解説 (陶磁・ガラス・漆工・竹工・染織・人形・金工)／『東京国立近代美術館工芸館所蔵名品展 近代工芸の巨匠たち』(田辺市立美術館、2013年7月)

展覧会カタログ 「松田権六《蒔絵竹林文箱》に見る蒔絵表現」／「クローズアップ工芸」展

◆内藤裕子

論文 新しいコレクション 原弘《「在外日本作家展—ヨーロッパとアメリカ」展ポスター(B2) 印刷原稿》／『現代の眼』602号

論文 作品研究 小宮康助《清雅地江戸小紋着物 極鮫》について／『現代の眼』604号

展覧会カタログ 章解説、作品解説、作家解説、作家略歴、翻訳／「2013 Cheongju International Craft Biennale Main Exhibition2 “The Formative Logic: The Utility and Expression in Contemporary Crafts”」(2013清州国際工芸ビエンナーレ、韓国、2013年9月)

◆諸山正則

論文 新しいコレクション 桂盛仁《盒子蟹》／『現代の眼』600号

論文 松下幸之助がみた伝統工芸とコレクションの意義／「幸之助と伝統工芸」展図録(美術出版社、2013年4月)

論文 作家作品解説 現代の日本工芸展について／「現代の日本工芸」展図録(外務省、2013年10月)

論文 バーナード・リーチと日本／『碧い風』77号(中国電力株式会社、2013年3月)

論文 第53回東日本伝統工芸展鑑査・審査講評／第53回東日本伝統工芸展図録(日本工芸会東日本支部、2013年4月)

論文 高島屋美術部と工芸／『高島屋美術部百年史：1909-2010』(高島屋、2013年4月)

論文 柳宗理のデザイン／『別冊太陽 柳宗理』(平凡社、2013年7月)

展覧会カタログ Made in Japanを生む：現代日本のプロダクトデザインの力／「現代のプロダクトデザイン—Made in Japanを生む」展